

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0686
施設名	こころ保育園
施設所在地	多摩市鶴牧5-5
法人名	社会福祉法人純心会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然 畑の活動

<テーマの設定理由>

- ・身近な野菜の苗植え、種まきから収穫までを通して、作物の成り立ちや作る人の苦勞、生長、収穫の喜びを味わい、クッキングをして食べる楽しさを感じ食への関心を持つ。
- ・昨年収穫ができなかった稲の栽培に再度挑戦して成功感を持つ。

2. 活動スケジュール

4月 草取り、耕し、畝作り、じゃがいも苗植え、バケツ栽培準備
5月 夏野菜、さつまいも苗植え、草取り、追肥、稲苗植え
6月 草取り、追肥、水やり 7月～8月 じゃがいも、夏野菜の収穫、クッキング、水やり
9月 草取り、収穫後の片づけ、耕し、畝作り、水やり 10月 冬野菜種まき、稲刈り、稲天日干し
11月 さつまいも収穫、稲脱穀、精米、クッキング 12月 さつまいもクッキング
2月 耕し、草取り、畝づくり、野菜苗植え

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

バケツ、土、肥料、プランター、野菜の苗、稲の苗
画用紙、クレヨン、絵の具、貸畑、支柱、網、ビニール、マルチ、軍手（大人、子ども）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

畑やプランターの土作りや耕し、畝作りは保育者が中心となり行う。
稲栽培は苗植えから定期的に観察画や気づいたことを発表し、確認していった。
稲刈り、脱穀、精米、炊飯と米、ごはんになるまでを追って活動した。
野菜の種類によって葉の形や花の色、土の中にできる野菜、上にできる野菜など違いをいろいろ調べ、興味を広げた。観察画を描く。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

栽培に関わることにより、野菜ができるまでの大変さが少しわかってきて、感謝を口にする子どももいた。稲の苗から米になるまでを経験し、自分たちで作った米でおにぎりを作り食べた喜びを保護者共に喜ぶ声があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

食に関心を持ったり、収穫からクッキングと子どもが関わることで嫌いだった野菜が食べられるようになったり、給食の食材にも関心が持てるようになる。また、作る人への感謝の気持ちが子どもから自然と出てきて嬉しい事であった。
天候により栽培状況が違ってくるので難しいこともあるが、子どもたちが楽しく取り組めたので良かった。